

横浜ドームで新会社

実現する会 構 想 出資に市民枠

横浜にドーム球場を実現するため、2012年秋をめどに新会社を設立する構想が4日までに浮上した。ホールディングカンパニー（持ち株会社）制を導入し、傘下に横浜ドームなどを置く内容。ドーム球場建設を目指す市民団体「横浜ドームを実現する会」（池田典義会長＝県情報サービス産業協会会長）の関係者が、具体的な構想が進んでいることを明らかにした。

（ベイスターズ問題取材班）

「実現する会」は近く、建設計画など具体的なスキームをまとめる協議会を、市や県、横浜商工会議所、球団などに提出する予定。さらに関係機関に呼び掛け、関係者による「新会社

資に名乗りを上げているという。

実現する会では、市民からの出資促進への具体策も検討。出資者には優先観戦シートやドームで開かれるイベントチケットの優先購入権など特典を設けるなどして、広く参加を促したいという。

横浜ドームについては、野球だけでなくイベントや

コンサートなど多目的の使用を想定。大災害が起こった際の避難所としての機能も持たせる方針だ。関係者は「羽田空港国際化を生かささない手はない。外国から観光客を呼び込むための拠点ともなる」としている。

◆ホールディングカンパニー「持ち株会社」とも呼ばれる。傘下に複数の企業（事業会社）を統制・支配する会社。企業グループの核となる親会社を指す。